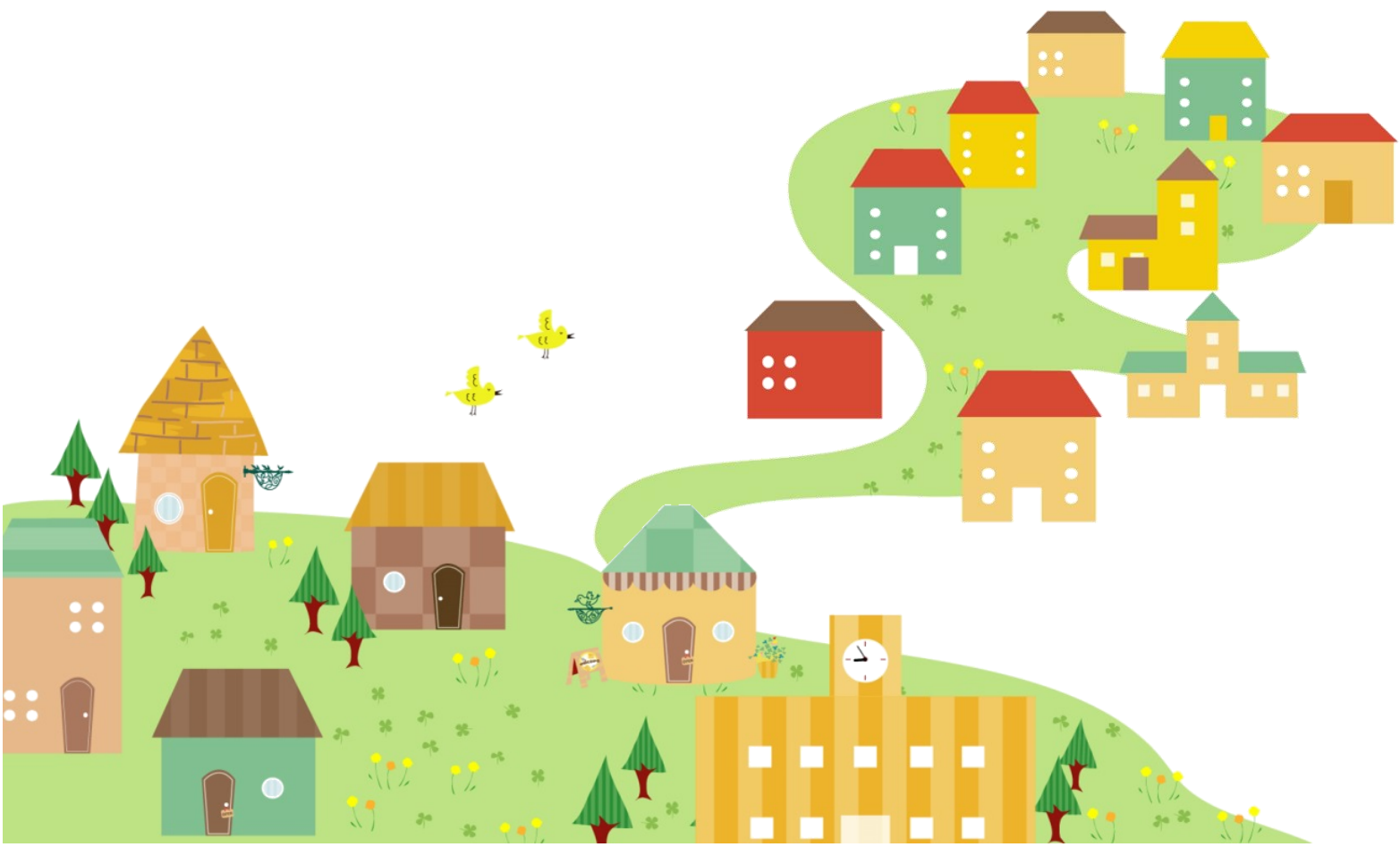


市民協働のまちづくり

協働・連携ハンドブック

— 資料編 —



資料編について

「市民協働のまちづくり 協働・連携ハンドブック」資料編は、6つの資料で構成しています。

資料編 1 目次別本編早見表

本編に掲載している内容とページ数を、詳しい項目ごとに掲載しています。読みたい項目を探す際にご利用ください。

資料編 2 これまでの市民協働の取り組み（年表）

帯広市のこれまでの市民協働の取り組みについて、年表で紹介しています。

資料編 3 協働の形態

本編に登場したさまざまな「協働の形態」について説明しています。

資料編 4 市民提案型協働のまちづくり支援事業実施団体

制度開始から今までの「市民提案型協働のまちづくり支援事業【Motto おび広がる プロジェクト】」実施団体を紹介しています。

資料編 5 市民協働指針庁内点検報告書

市民協働指針の推進方策や取り組み手法について、市民等との協働事業を実践している課を対象に調査・点検を行ない、その結果をまとめたものです。

資料編 6 市民団体意見聴取結果報告書

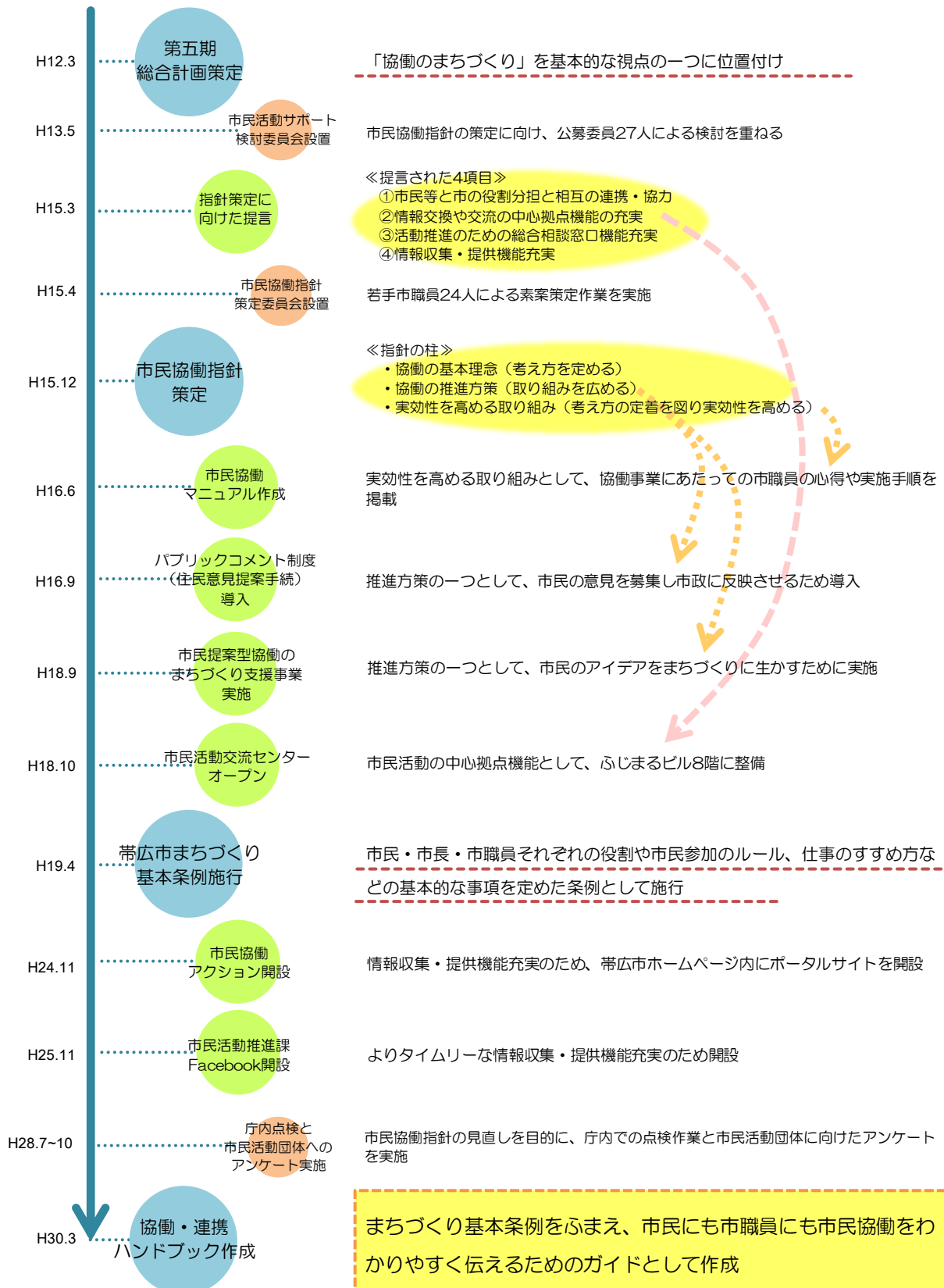
市民協働指針の推進方策や取り組み手法について、市民活動団体へアンケート調査を行い、その結果をまとめたものです。

目次別本編早見表

区分	ページ 番号	項目
背景	1～4	知ってほしい「協働」の意味～ハンドブックの誕生
基本	5～6	ことばの意味～協働の基本的な考え方
情報	8	市民活動ポータルサイト
人材育成	10	ボランティア養成講座
	10	語り手育成講習会
	11	食生活改善推進員養成講座
	11	健康づくり推進員養成講座
	12	認知症サポーター養成講座
	12	ちょっとした支え合いサポーター養成講座
	13	ファミリーサポートセンター提供会員育成講習会
	13	市民活動交流会
	14	市民活動促進講座
拠点	15～17	コミュニティ施設
	17	コミュニティルーム
	18	市民活動交流センター
	18	市民活動プラザ六中
	19	帯広市保健福祉センター
	19	とかちプラザ
	20	帯広市グリーンプラザ
	20	ボランティアセンター
連携	21～23	企業との包括連携協定
	24～25	学校を中心にした連携
窓口	26	市民活動相談
支援	27～29	市民提案型協働のまちづくり支援事業
	30	北海道立市民活動促進センター
	30	十勝総合振興局
	30	ボラ市民ウェブ
事例	32	帯広ファミリーサポートセンター事業
	33	子どもの居場所づくり事業
	34	20歳からのバランスご飯教室
	35	帯広まちなか歩行者天国
	36	地域防災訓練
	37	帯広を緑と花でつつむ花壇コンクール
	38	クリーン・キャンパス・21
	39	動物園ボランティア事業
	40	パートナーシップ除排雪事業
	41	コミュニティ施設の管理運営
	42	高齢者いきいきふれあい館「まちなか」の運営管理

これまでの市民協働の取り組み

帯広市の市民協働に関する取り組みを、年表にまとめました。



協働の形態

本編では、企業や学校、地域住民など、さまざまな立場の方と行政との協働事例について紹介しました。ここでは、本編に登場したさまざまな「協働の形態」について説明します。

協働の領域

公共の取り組みを市民と行政の役割で分類すると、下の A～E のように 5 段階に分けられます。そのうち、市民主体で取り組む A と、行政主体で取り組む E を除く B～D が協働に適した事業になります。協働に適さない事業もごく一部ありますが、多くの事業が協働で実施することができます。

A 市民主体	B 市民＞行政	C 市民＝行政	D 市民＜行政	E 行政主体
市民の責任と主体で、独自に行うこと	市民が主体的に、行政のサポートを得ながら行うこと（市民主導）	市民と行政がそれぞれの主体性のもと、力を合わせて行うこと	行政が主体的に、市民のサポートを得ながら行うこと（行政主導）	行政の責任と主体で、独自に行うこと
協働の領域				

◎協働に適した事業（B～D の領域）

- 多くの市民の協力・参加が必要なもの…イベント、講演会、啓発事業など
- 地域と密接な連携が必要なもの…防災訓練、施設の管理運営など
- 各主体が当事者性を発揮することが必要なもの…先駆的な活動団体との協力など
- きめ細やかな対応が必要なもの…子育て支援、広報の音訳など
- 特定分野における専門性や希少性が必要なもの…芸術、文化、生涯学習など

✕協働に適さない事業（E の領域）

- 行政処分や行政指導…許認可、賦課徴収、給付など
- 内部管理事務…人事、庶務・経理など

協働の形態

協働のかたちはさまざまです。事業ごとに最も適した協働の取り組みを進めましょう。※協働形態の後ろの（ ）は、前ページの図に当てはめた領域です。

委託（D）

行政が実施する事業を、市民や企業などパートナーの特性を活かしてより効果的に実施するために、事業の全部または一部を委ねる協働形態。パートナーの特性が発揮されることで、行政にはない創造性や先駆性が期待でき、市民ニーズに応えられるきめ細やかなサービスの提供が可能になります。

補助（B, C）

市民等が行う事業に対して財政的な支援を行うことで、公共公益的な課題解決を実現する協働形態。行政だけでは取り組みが困難な事業を支援することで、多様な市民サービスの提供につながります。

共催（B, C）

市民等と市がともに主催者となって事業を行う協働形態。パートナーのアイデアやネットワークが活かされ、広く市民に参加を呼びかけることができます。企画段階から話し合うことで、相互理解が深まり、信頼関係を築くことができます。

後援（B）

市民等が実施する事業の公共・公益性を認め、財政面以外の支援を行う協働形態。事業に対する理解や関心、社会的信頼が増し、広く市民の参加を呼びかけることにつながります。

実行委員会・協議会（B, C, D）

市民等と市が実行委員会や協議会を構成し、双方が主催者となって事業を実施する協働形態。「共催」と同様の効果が期待されます。

事業協力（B, C, D）

市民等と市がお互いの特性を活かし、定期的・継続的に協力し合いながら事業を実施する協働形態。双方の特性が活かされ、より効果の高い事業を実施することができます。また、話し合いの機会が増えることで信頼関係を築くことができます。

情報交換・情報提供（B, C, D）

市民等と市がそれぞれ持つ情報を提供し合い、活用する協働形態。お互いの知識が活かされるため、専門的で高度な情報を得ることができます。また、地域の課題を的確に把握することができます。お互いに情報を共有し合うことにより、それぞれの事業内容を充実させることにもつながります。

市民提案型協働のまちづくり支援事業 実施団体一覧

平成 18 年 9 月の制度開始からこれまで、市民提案型協働のまちづくり支援事業【Motto おび広がる プロジェクト】を活用した団体一覧です。

※ () 内の数字は、その団体が事業を活用した回数です。

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H19	大山緑地と若葉の森を愛する会	都市緑地の保全と教育環境の充実	地域住民と行政の共同作業による施設整備、倒木処理、動植物の把握
	清川地域づくり協議会	自然の保護育成と地域連帯の効用による、住みよい生活環境の創造	楓の植樹による環境保全、保水、樹液生産
	大空町連合自治会	ウツバツ川沿いの桜並木整備と蜚の住む川の再生	地域住民の交流・憩いの場としてウツバツ川沿いに桜並木を整備
	Close to you	まじり合い（交流）・まなび合い（学習）・つながり合い（連携）	子どもたちを中心として、地域や様々な立場の人との交流や学習を行う
	とかち CO ハウス研究会	多世代・多種世帯が協働する新しい支えあいのある暮らし・住まい・まち	「新しい支えあいのある暮らし」のワークショップやフォーラム実施
	CAP きらり	CAP～子どもへの暴力防止から地域の暴力根絶へ	CAP ワークショップで大人援助コミュニティネットワークをつくり、暴力のエスカレートを防止
H20	大山緑地と若葉の森を愛する会（2）	都市緑地の保全と教育環境の充実	木柵の防腐塗料塗布や倒木処理、地域住民との共同作業
	愛の国郷土博物館運営ボランティアの会	愛国駅の観光客、地域住民、各学校の生徒を対象に愛国開拓 100 年の歴史を伝える	開拓当時の生活機具、道具、ばんえい競馬の馬具などを展示し、当日の生活を楽しく学ぶ場の提供
	音訳グループさざなみ	デジタル録音移行プロジェクト	音訳業務のテープ録音からデジタル録音への移行に伴う技術取得及び機器購入
	高齢者介護の勉強会	介護の人材育成	高齢者介護に関わる人たちの知識と技術の向上
	おびひろ動物園協会	おびひろ動物園活性化支援事業	入園者に対するアンケート調査、ボランティアガイドの養成

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H20	自然にいいこと、再発見。 カンナ・カンナ	身近なことのエコ活動で環境配慮型 のまちづくり	イベント会場内での割り箸回収ブース 設置・回収、展示による環境啓発活動、 マイ箸ワークショップの実施
	はるにれの会	ひとりぼっちで悩む人をなくそう～ ありのままに思いを語り合える居場 所づくり	PR リーフレットの作成、配布
	ガイドヘルパーボランテ ィア くるみの会	障がい者と十勝の旅をしよう	障がい者を対象とした体験ツアーの実 施、障がい者に配慮したルートの検討、 研修
H21	愛の国郷土博物館運営ボ ランティアの会（2）	体験できる博物館	愛国開拓 100 年の歴史を伝える体験が できる博物館の運営
	高齢者介護の勉強会	介護に係る人材育成	学習会の開催、情報交換・交流を通じて 助け合いを図る
	NPO 法人とかち馬文化 を支える会	馬文化を活用した帯広市活性化推進 事業	馬文化に係る情報発信、出前講座等を通 じ馬文化の理解醸成とばんえい競馬の 振興、地域活性化を目指す
	NPO 法人子どもと文化 のひろば ふれいおん・ とかち	子育て応援情報誌発行事業	子育てに必要な知恵や体験談を掲載し た既存にはない地域密着情報誌の発行 と配布
	たねっと（十勝アクショ ンネットワーク）	デート DV 防止プログラム講座	デート DV 講座の開設と普及
	ガイドヘルパーボランテ ィア くるみの会（2）	障がい者と十勝の旅をしよう	障がい者を対象とした自然を満喫する 旅の企画
	音訳グループさざなみ （2）	デジタル録音移行プロジェクト	音訳業務のテープ録音からデジタル録 音への移行に伴う技術取得及び機器購 入
	Close to you（2）	まじり合い（交流）・まなび合い（学 習）・つながり合い（連携）	誰でも参加できる体験型イベント実施 により、地域の人が学習・交流する場の 提供
	おびひろ動物園協会（2）	おびひろ動物園活性化支援事業	ボランティアガイドの養成による動物 園入園者の増加を図る

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H22	石王緑地をまもる会	石王緑地の保全と環境整備の充実	自然道の歩道工事、巣箱・樹名板取付、植樹
	NPO 法人すきっぷ	子ども居場所づくり支援事業	居場所づくり事業の体験版実施、地域ボランティアの組織づくりなど、開所に向けた助言・指導
	自然にいいこと、再発見。 カンナ・カンナ（2）	お店発のエコ情報で、市民のエコ参加の向上を。	地域住民や観光客に地域エコ体験情報誌を発行して配布し、市民参加と環境意識の向上を目指す
	NPO 法人とかち馬文化を支える会（2）	馬文化を活用した帯広市活性化推進事業	馬文化新聞の発行による情報発信、出前講座等を通じ馬文化の理解醸成とばんえい競馬の振興、地域活性化を目指す
	NPO 法人子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち（2）	子育て応援情報誌発行事業	子育て応援情報誌の継続発行と、事業所等との連携により子育て支援の意識を高める
	帯広市生涯学習コーディネーターの会「生街 しょうがい がくしゅう集の学舎」	いっしょに楽しく。学び、いっしょにまちづくりをするきっかけに	生涯学習推進委員会や市民団体との協働による「おびひろ地元学」の展開で、地域の魅力や課題発見のきっかけを提供
	帯広ふまねっとの会	ネットで深めよう絆と健康管理	ふまねっと運動を普及推進し、高齢者の健康維持と連携意識を高め、サポーターやインストラクターの養成と組織作りを行う
H23	おびひろ動物園ボランティアグループ Zooful	動物園を通じての人材育成と地域活性化	動物園でのボランティア活動、広報・ポスター製作、会員のための勉強会
	帯広川伏古地区子どもの水辺協議会	帯広川探検隊～親子孫、三世代で学び感動する帯広川の魅力～	帯広川を拠点とした勉強会、体験学習の実施
	不登校を語る親の会	つながる、つたえる、つつみこむ	不登校の子を持つ親同士の交流、学習機会の提供
	ひきこもり（青年期）家族の会たんぽぽ	アンダンテ（稲の旋律）の上映と講演会	映画の上映と、原作者による講演会の開催

資料編 4 市民提案型協働のまちづくり支援事業実施団体

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H23	NPO 法人コーチズ	「笑おうや 動こうや 集まろうや」ガンバルーン体操で！！	ガンバルーン体操の指導者発掘と、増員に向けた講習会開催
	劇団 演研	演劇ワークショップ	中高生向け演劇ワークショップの開催
	NPO 法人すきっぷ（2）	（仮称）夏休みこども夢教室（キッズサマースクール）	小学生の様々な体験学習機会を夏休み中に提供
	帯広市生涯学習コーディネーターの会「生街 しょうがい 楽集 がくしゅう の学舎」（2）	いっしょに学び、よりよい地域とするために～市民による市民のためのまちづくりワークショップ	大学、行政、生涯学習コーディネーターの3者協働により「おびひろ地元学」、「おびひろDIG」などまちづくりに向けた話し合い学習
	帯広ふまねっとの会（2）	ネットで深めよう絆と健康管理	町内会等におけるふまねっと運動の普及促進と、サポーターの養成
	帯広市食生活改善推進員協議会	私達の健康は私達の手で	健康寿命維持に向け、食への関心を向上させ、実践する活動の提供
	大正新ジャガ伝実行委員会	大正新ジャガ伝の開催	農業、商業、地域住民、福祉団体と連携し、大正地区の新ジャガと地域の魅力発信のため参加型イベントを開催
H24	おびひろ動物園ボランティアグループ Zooful（2）	動物園から帯広市を活性化する	動物園イベント時に来園者が楽しめるイベントの企画、実行、会員向け勉強会
	つつじっ子クラブみまもり隊	つつじっ子夏祭り、秋のもちつき大会（つつじ小学校の子どもたちと地域住民との交流事業）	夏祭りの開催により、地域の子もたちと大人の親睦交流、安心安全な地域づくりに役立てる
	帯広ウチダザリガニバスターズ	稲田機関庫の川支流の無名川の生態系保全活動	ウチダザリガニの一掃を目指した駆除活動
	子どもと文化を楽しむ市民の会	親と子のふれあいコンサート みなみの風・にしの風コンサート	乳幼児向けコンサートの開催
	日曜クラブ	「おたがいさま」のコミュニティ実現のために～わたしたちがしたいこと・できること～	障がい者同士の共有ミーティング、地域貢献活動、地域住民との交流会開催

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H24	一般社団法人ふれあいデジタル工房ワークサポートふれあい	メル友づくりで高齢者への声かけ支援	身体障害者による、高齢者向け携帯電話操作講習会の開催と交流事業
	NPO 法人フラワーセラピー研究会帯広地区（2）	高齢者も障害者も全ての人が、心豊かに過ごせる地域社会をめざして…花の力を借りて	施設でのフラワーボランティア活動、体験会、ボランティア人員の増員
	帯広つぼみダンス同好会	ダンスを通じた交流や学習、連携、そして日頃の運動不足の解消	ダンスを通して色々な立場の人たちとの交流、学習
	大正新ジャガ伝実行委員会（2）	大正新ジャガ伝の開催	農業、商業、地域住民、福祉団体と連携し、大正地区の新ジャガと地域の魅力発信のため参加型イベントを開催
	帯広市第八中学校サポート隊	八中の池の移設	恒久的なサケの稚魚観察池の水源確保に向けた池の移設
	とうもろこしの会	仲間、健康、生きがい	ピアカウンセリングやディスカッション、調理実習やエクササイズの実施
	石王緑地をまもる会（2）	石王緑地の保全と環境整備の充実	自然道の歩道工事、巣箱・樹名板取付、植樹
H25	帯広川伏古地区子どもの水辺協議会（2）	帯広川開拓団～親子孫、三世代で学び維持管理する帯広川～	水辺の体験学習や散策路整備、小魚釣りの場の整備
	NPO ふらっとホーム	とかちおびひろ映画祭（3分ショートフィルム）	ショートフィルムの公募、上映会とグランプリの決定
	おりがみサークルパピロフレンズ	折り紙でいきいき楽しく！	世代に合わせた折り紙指導や市内施設での折り紙作品展示
	栄小地区生涯学習推進委員会	帯広市内の小川にホタルを飛ばせたい	小さな川を調査し、ホタル生息に向けた工夫
	子どもと文化を楽しむ市民の会（2）	親と子のふれあいコンサート	乳幼児向けコンサートの開催
	とかち「すすらの会」	社会貢献のできる、明るい患者会	慢性腎臓病の正しい情報提供、啓発活動
	帯広つぼみダンス同好会（2）	障害者のダンスを通じた交流や学習、連携、そして日頃の運動不足の解消	ダンスを通して色々な立場の人たちとの交流、学習、イベント出演

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H25	帯広コンテンポラリーアート実行委員会	ボードレスアートで…アールブリュット（アウトサイダーアート）作品の展示 アートでまちの元気づくり…	障害者作品を中心とするアート展示会、障害者授産品の付加価値向上、こどもや障害者とのアート作品づくり
	発達ひろば	発達障害者も暮らしやすい帯広のまちづくり	当事者の自主講演会開催、先駆的活動団体との交流ワークショップ開催
	とかち絵手紙の会	出会い、ふれあい、楽しい展	絵手紙による交流、学習事業
	つつじっ子クラブみまもり隊（2）	つつじっ子夏祭り（つつじ小学校の子どもたちと地域の住民との交流事業）	夏祭りの開催により、地域の子もたちと大人の親睦交流、安心安全な地域づくりに役立てる
	十勝キャリアデザインネットワーク	CDN 働く女性の成長を支援するメンターシップ事業	働く女性の意識改革やCDNメンターシップ事業 PR、セミナー開催
	帯広くろみクラブ	ノーマライゼーションを目指した取り組み展開による住みやすいまちづくり	障害者と健常者による啓北グリーンロードの環境整備
	不登校を語る親の会「時熟」（2）	三つの「つ」：つながる、つたえる、つつみこむ	親同士の交流、学習機会提供と情報発信
H26	帯広市農業青年団体連絡協議会	若い農業青年と一緒に、食を通じた元気な地域づくり！！	地元の若手農業者と市民との交流イベントを開催
	おびひろ動物園ボランティアグループ Zooful（3）	おびひろ動物園ボランティア 市民に愛される動物園づくり	動物園の話題作りと来場者へのサービス向上に向けたイベント企画
	エコな地域をつくる会	地球と人に優しいエコな雑草管理隊	地域の環境整備、落ち葉や雑草の堆肥化、堆肥の散布活動
	帯広市農業青年団体連絡協議会（2）	農業青年と一緒に、食を通じた元気な地域づくり！～地元食材と農業についてもっと伝えたい～	小学生の親子を対象とした食育イベントの実施
	NPO ふらっとホーム（2）	「とかち・おびひろ動画大賞」事業～身近な映像を公募して十勝の魅力を発見～	帯広・十勝で撮影した動画の公募と作品の上映会

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H26	帯広ロボットプロジェクト	ロボット体験イベント～ロボットプログラミングを体験しよう～	ロボットプログラミング、触って動かせるイベントの開催
	とかち絵手紙の会（2）	第 20 回絵手紙たなばた祭り 出会い、ふれあい、楽しい展	絵手紙たなばた祭りの開催、記念誌の発行、指導者の育成
	十勝キャリアデザインネットワーク（2）	「働く女性の成長を支援するメンターシップ事業」女性のための発信力養成講座	講座の開催により働く女性の発信力向上を図る
	発達ひろば（2）	地域の発達障害者に自助のチカラを	専門家による講座の開催
	NPO 法人認知症フレンドシップクラブ帯広事務局	認知症の人が安心して暮らせる街づくりをめざす	認知症についての研修会、認知症高齢者（徘徊）模擬訓練の実施
	TOKACHI 大学	TOKACHI 大学公開授業	対話力やコミュニケーション力向上に向けた講演会の開催
	NPO 法人とかち市民後見人の会	市民後見人がおじゃまします！	市民後見人制度についての講演、資料配布、相談会
H27	とかち「すずらんの会」（2）	しってほしいあなたの腎臓～専門の先生と患者の体験から本当のことを知ってほしい～	勉強会等の開催
	帯広宣隊ジバサンダー委員会	帯広に NEW ヒーロー降臨！ローカルヒーローショー	悪役ヒーロー増員、地場製品の紹介ムービー作成
	あっちこっち紙芝居	紙芝居・絵本の読み聞かせ出前講座	施設への紙芝居・絵本出前講座、読み聞かせの人材育成
	十勝でアクションめぐりー	子どもたちとゆく十勝体験ツアー～見て・食べて・伝えて～	親子バス学習の実施、冊子づくり
	NPO 法人猫たちを守る十勝 Wish の会	動物愛護と適正飼育についてのパネル展・アンケート調査	動物愛護と適正飼育についてのパネル展・アンケート調査
	NPO 法人とかち市民後見人の会（2）	市民後見人がおじゃまします！講座	出前講座や相談会、特別講演会の開催
	NPO 法人すきっぷ（3）	市民協働土曜教室・体験版の開催	市民協働土曜教室、講演会の開催
	帯広ロボットプロジェクト（2）	ロボットやプログラミング体験とIT活動の普及活動	ロボット体験イベント、プログラミングなどワークショップ

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H27	COMONO グループ	マタマスクール～妊娠・子育てが素晴らしいと感じてほしい～	妊婦さんを対象とした学習会や交流会の開催
	エコな地域をつくる会（2）	続・地球と人に優しいエコな雑草管理隊	雑草堆肥化装置の研究、手順のマニュアル化、研修や地域との学習交流会
	NPO 法人ほっと・ぷらっと	障がい者等困難を抱える親子への支援のための先進事例講座	先進事例の市民講座、先進地視察、報告書の配布
	ハの日ジャンプの会	健康とエコ活動の呼びかけ運動	ブラザ六中を拠点とした地域の健康増進、社会貢献、地域交流事業
	とかち「すずらんの会」（3）	してほしいあなたの腎臓講座～専門の先生と患者の体験から本当のことを知ってほしい～	勉強会の開催
H28	NPO 法人猫たちを守る十勝 Wish の会（2）	十勝版動物愛護ハンドブックの配布と動物愛護懇談会の開催	十勝版動物愛護ハンドブックの配布と動物愛護懇談会の開催
	帯広の森コミセン運営委員会・帯広の森コミセンレコードボランティアの会	アナログレコード及び音楽文化の普及促進事業	レコードの整理、学校等への授業協力、施設等への出前コンサート
	NPO えがお	「ちょっとした支援」のボランティア参加者を増やす事業	通院支援、買い物支援ボランティア増員、福祉・セダン有償運送運転者講習の修了者増
	WEW とかち	不登校について考える事業	映画「さなぎ」上映会&三浦監督+平野准教授トークセッション
	双葉幼稚園保存期成会	双葉幼稚園展事業「双葉幼稚園の歴史により幼児教育の原点を伝える」	各種記録資料等の収集及び整理、整理した資料等による展覧会
	NPO 法人 h&hs	長靴ホッケーリーグ	長靴ホッケーの講習会、リーグ開催・運営、長靴ホッケーの活動記録を広報
	NPO 法人市民後見センターとかち	終活サポート事業～豊かな人生を送るために～	市民後見制度や活動の広報、エンディングノートの効用・ニーズ講座、エンディングノートの書き方講座
	COMONO グループ（2）	マタマスクール～手をつなげる妊娠・子育て～	月2回の妊婦と子育てママの勉強会

実施 年度	団体名	提案テーマ	実施内容
H28	帯広宣隊ジバサンダー委員会（2）	会える週末ヒーロー！ジバサンダーとクワズキラーでまちおこし	治安維持活動、いじめ撲滅運動に併せた啓蒙活動、好き嫌い・いじめ撲滅ポスター制作と小学校への掲示、敵キャラ増員
H29	十勝川さけの学舎	十勝川のさけが帯広の自然環境のバロメーター事業	さけの自然産卵に伴う観察会・学習会等の設置
	えんぽっくる	がん患者とその家族の支援事業	がん患者とその家族のための勉強会・交流会の開催
	NPO 法人 ALL SeeD Association	「もの」+「つくり」ワークショップ & アート展示会	2 週間ごとに講師の替わるワークショップと作品展示
	TK 部	受験の寺子屋（JTK48）、皆で夢を叶えよう！夢を語る会、高校生が作る帯広特産物グルメロードマップ	高校生による、中学生向けの勉強会、夢の実現に向けた勉強・交流会、市内のグルメロードマップ作り
	WEW とかち（2）	地域のこどもたちの今と未来を考える事業	映画「さとにきたらええやん」上映会&重江監督+平野准教授トークセッション
	とかちの楽しい 100 人 実行委員会	とかちの楽しい 100 人 DELUXE	トークイベント「とかちの楽しい 100 人 DELUXE」の開催

帯広市市民協働指針

庁内点検作業 実施報告書

平成 28 年 9 月 市民活動部 市民活動推進課



目 次

1 庁内点検作業の実施結果

- (1) 市民協働指針点検シート集約結果・・・・・・・・・・ 1
- (2) 庁内ヒアリング調査結果・・・・・・・・・・ 4
- (3) 市民協働指針の方向性についての意見・・・・・・・・ 6

1 庁内点検作業の実施結果

● 実施の背景

平成15年12月に策定した「帯広市市民協働指針」における取組項目等については、着実に推進してきているが、この間、平成19年4月には、協働のまちづくりの推進するための基本的事項を定めた「帯広市まちづくり基本条例」が施行されるなど、時間の経過に伴い、すでに達成している項目があるほか、時代にあった内容の更新がなされていない状態にあるため、これらの点検を行ったうえで、一定の整理をする必要がある。

● 点検作業の目的

現行指針の基本理念と推進方策について、協働事業の実践を照らし合わせ、指針の考え方や方向性にギャップが生じていないかを確認した。

(参考)

【市民協働の基本的考え方】



(1) 市民協働指針点検シート集約結果

協働事業を実践している課を対象として、市民協働指針点検シートにより点検を行った。

- 点検実施対象課 32課
- 点検対象協働事業 108事業
- 市民協働指針点検シート 様式1（11ページ）のとおりに

● 集約結果1 ～協働の理念～

次表のとおり、柱となっている3つの理念に基づく取組状況については、「概ね取り組んでいる」が回答数の85%を超える結果となった。

協働の実践において、現行指針の理念が浸透していると考えられ、当理念に沿った取組がなされている。

また、策定から年数が経過していることに伴い、理念自体と現在の取組の方向性にずれが生じている状況も見られず、指針の基本理念は今も変わっていないと言える。

現 行 指 針		点検の視点	取 組 状 況		
			概ね取り組んでいる	一部、取り組んでいる	取組が進んでいない
A 協 働 の 理 念	1 対等のパートナー 市民と行政は、公共サービスを受ける側と提供する側でも、上下の関係でもない、共にまちづくりを行う対等のよきパートナーです。 市民と行政が、それぞれ役割を担い、相互に補完しながら市民協働を進めます。	◎市民の自主性を尊重しながら目的を共有し、互いの役割と責任を明確にして取り組んでいるか	45 (88%)	5 (10%)	1 (2%)
	2 相互理解と共通認識 市民と行政は、相互の特性などについての理解と協働の目的などについて共通認識の醸成に努めます。 その上で、市民は、知恵や技術、経験などを活かし、まちづくりの企画・立案、事業の実施、評価の各段階に進んで参加し、行政は、豊富な情報を積極的に公開し、透明性の高い行財政運営を推進します。	◎互いの特性や立場の違いを理解して、協働の視点で企画や事業に進んで取り組んでいるか ◎協働事業に関する情報の積極的な公開に取り組んでいるか	45 (90%)	3 (6%)	2 (4%)
	3 自主性・主体性の尊重 市民は、これまでも自らの意思と責任のもとで様々な活動を展開し、まちづくりを支えていきます。 行政はこうした市民の自主性・主体性を尊重し、これからも相互に協力しながら市民協働のまちづくりを進めます。	◎各種事業に最も適している協働領域（①市民主体、②市民主導、③双方同等、④行政主導、⑤行政主体）に近づくよう、取り組んでいるか	43 (86%)	4 (8%)	3 (6%)
			41 (85%)	7 (15%)	0 (0%)

● 集約結果 2 ～協働の推進方策～

次表のとおり、「情報の共有化」や「環境の整備」、「相互の意識改革」については、「概ね取り組んでいる」が80%を超えた。

一方、「人材の育成」や「機会の拡大」については、担い手不足の課題に直面している協働事業や行政側で計画・立案を行っている例が多く、取組が停滞している面が見られた。

また、「概ね取り組んでいる」と回答している課であっても、今後も継続して取り組むべきものであるとの認識があり、引き続き取組事項として整理すべき方策と言える。

現 行 指 針		点検の視点	取 組 状 況		
			概ね取り組んでいる	一部、取り組んでいる	取組が進んでいない
B 協働の推進方策	1 情報の共有化 ・事業の実施状況や施策の検討状況、事業の評価などを広報紙やホームページなどの様々なメディアを活用してわかりやすく周知する。 ・パブリックコメント制度の活用を進める。 ・審議会、協議会や各種委員会に関する会議録などの公表を進める。	◎様々な手法で、事業の情報共有に取り組んでいるか	42 (84%)	5 (10%)	3 (6%)
	2 環境の整備 ・市民活動交流センターなどの公共施設を有効に活用して、団体相互の情報交換・交流・活動を進める。	◎事業の実施にあたって、公共施設の活用し、団体間の交流等に取り組んでいるか	36 (82%)	7 (16%)	1 (2%)
	3 人材の育成 ・市民活動団体などが自主的に行う人材育成を支援し、協働の担い手を育てる。	◎団体などの人材育成の支援や助言に取り組んでいるか	21 (48%)	15 (34%)	8 (18%)
	4 機会の拡大 ・イベントや研修会などの開催を通じて、協働のきっかけづくりを進め、計画・立案段階からの協働に努める。	◎研修会などを通じて協働のきっかけづくりに取り組んでいるか	32 (68%)	13 (28%)	2 (4%)
	5 相互の意識改革 ・市民協働に対する職員一人ひとりの理解を深めるとともに、職務を通じた実践を進める。	◎市民協働の理念を職員が理解したうえで、協働事業の立案・企画に取り組んでいるか	41 (84%)	6 (12%)	2 (4%)

● 集約結果 3 ～協働の実効性の向上～

次表のとおり、「啓発活動」については、「概ね取り組んでいる」が80%となった。「仕組みづくり」については、マニュアル（手引書）の作成や評価を実施している課が63%となったが、当課で全職員向けのマニュアルを平成16年6月に作成していることから、独自に対応する必要が無かったものと考えられる。

なお、条例制定については、前述のとおり、平成19年4月1日に「帯広市まちづくり基本条例」が施行されたため、取組を終了している。

これら「協働の実効性の向上」については、体制や仕組など制度を整えていく

ための方策であるため、指針策定から年数を経過した現時点では、取組を終えているものがあり、内容を整理する必要がある。

現 行 指 針	点検の視点	取 組 状 況		
		概ね取り組めている	一部、取り組んでいる	取組が進んでいない
C 協働の実効性の向上	1 啓発活動 ・特定の市民だけが担うものではなく、広く市民と連携・協力するため、あらゆる機会を通して啓発に努める。	37 (80%)	8 (17%)	1 (2%)
	2 仕組みづくり ①窓口機能の充実 関係する部署との連携や協力を 行う。 ②マニュアル（手引書）の作成 協働実践に必要な具体的な 手順などをわかりやすく示す。 ③評価の実施	30 (63%)	17 (35%)	1 (2%)
	3 指針見直し、条例制定	取組済み		

(2) 庁内ヒアリング調査結果

- 対象部課（各部において協働事業が多くある課を中心に指定） 16課
- 対象協働事業 52事業
- 実施日 平成28年7月7日及び7月12日
- ヒアリング項目

「市民協働指針点検シート」に記載していた協働事業の実施内容や、進捗状況を確認したほか、次の視点に基づいて、ヒアリングを行った。

- ・市民協働の広がりを実感しているか
- ・課題等をどのように捉えているか
- ・市民協働の今後の方向性についてどのように考えているか
- ・市民協働（の相手方）にどのような期待をしているか

※企業や学校、NPO法人（テーマ別組織）と連携している例があるか

● 主な意見等

次表のとおり、市民協働の広がりに関しては、前向きに捉えている課が多く、いずれの課も今後も市民協働による取組を続けていく必要があるとの認識であった。

ヒアリング 項 目	傾向	回答数 (のべ)	聴取内容
市民協働の広が りを実感してい るか	参加者数の増加などにより 広がりを感じている。	10	・ 事業を拡大しており、市民協働が進んでいると感じている。 ・ 行政主導から市民主導に移行してきている。 ・ 事業以外での結び付きが増えてきており、市民協働の広がりを実感している。 ・ 自主的なボランティア活動が進んでおり、老若男女問わず、協働事業に携わってもらっている。
	広がりまでは感じていないが、順調で安定した状況にある。	5	・ 相手方に意欲があり、コミュニケーションが十分に取れている。 ・ 事業実施から年数が経過し、マンネリ化しているとも言えるが、順調である。 ・ 事業は安定期に入っており、今後も同様の形で続けていく。
	現状維持するため努力が必要である。	1	・ 行政の負担が大きくなってきている傾向があり、事業の現状維持に努める必要がある。
課題等をどのよ うに捉えている か	事業の停滞化、地域によ って活動に濃淡があ る。	5	・ 地域（町内会）によって、取組や人材に濃淡があり、一律に対応できない。 ・ マンネリ化することで、取組がトーンダウンしがちである。 ・ 年数が経過することで活動が停滞気味である。
	担い手の減少、高齢化、 固定化、新陳代謝が滞っ ている。	6	・ 活動組織の解散につながっている事例があるなど、担い手の減少は続くと考えられる。 ・ 「高齢者のさらなる高齢化」が進んでいる。
	リーダーになれる人がい ない。	2	・ リーダー格の人材がいらないことにより、組織としてまとまりづらく、スムーズな事業執行ができていない。
	概ね順調であり、喫緊の 課題はない。	4	・ 担い手の代替わりが比較的順調である。 ・ 直接的に事業に携わっている人が限られているという面は少しあるが、なり手は常に存在しておりボランティアは増加傾向である。
市民協働の今後 の方向性につい てどのように考 えているか	合意形成のため、今後も 市民協働の取組が必要で ある。	5	・ 施策や事業に関する市民の円滑な合意形成として、実行委員会などの組織は市民協働での実施が必要。
	課題の解決のため、今後 も市民協働の取組が必要 である。	3	・ 行政では対応が難しい地域課題の解決のため、町内会等との協働や連携が必要。
	コスト低減のため、今後 も市民協働の取組が必要 である。	1	・ 人件費などの行政コストを低減できる。
	自治意識向上のため、今 後も市民協働の取組が必要 である。	3	・ 市民の行政運営への関心や自治意識向上に繋がる。

視点	傾向	回答数 (のべ)	回答内容
市民協働（の相手方）にどのような期待をしているか	スタッフの充実	2	-
	自主的・自発的な活動	3	-
	企画・立案能力の向上	2	-
	自立性の向上	2	-
	事務処理能力の向上	2	-
	人材の育成・交流	3	-
	専門性の追求	7	-

● 企業や学校と連携している例について

(敬称略)

○ 主な企業・団体	各スーパーマーケット、コンビニ、報道機関、(株)マテック、(株)満寿屋商店、(株)藤丸、社会福祉協議会、日本自動車連盟、NPO法人
○ 主な学校	帯広畜産大学 大谷短期大学 帯広南商業高等学校 帯広コア専門学校

(3) 市民協働指針の方向性についての意見

市民協働指針の方向性について、庁内点検作業や庁内協働連携会議において、次のような意見が出され、今後の市民活動団体への意見聴取をふまえ、指針の存置やあり方を含めて、平成28年12月頃までを目途として方向性を整理することとする。

【意見】

- ・市民協働指針の理念は普遍的なものであり、今後も指針の考え方は継続していくべきであり、根本的な見直しなどの必要は無いのではないか。
- ・市民協働指針の理念を受ける形で「まちづくり基本条例」の各条項に溶け込んで定着した現在、指針として残す必要は無いのではないか。
- ・協働をより進めていくには、マニュアルや手順書、事例集的なものを充実する必要があるのではないか。
- ・理想と現実のギャップから目を逸らさずに、現実に沿った内容にすべきでないか。

帯広市市民協働指針

市民活動団体等への 意見聴取結果報告書

平成 29 年 1 月
市民活動部 市民活動推進課

目 次

1 市民活動交流センター（相談室）運営団体への意見聴取結果

- （1）運営団体ヒアリング結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 市民活動団体等への意見聴取結果

- （1）アンケート実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- （2）協働の基本理念についての意見・・・・・・・・・・ 4
- （3）協働の推進方策についての意見・・・・・・・・・・ 5
- （4）連携・協働の取組状況についての意見・・・・・・・・ 6
- （5）コミュニティ施設の活用についての意見・・・・・・・・ 9

1 市民活動交流センター（相談室）運営団体への意見聴取結果

（１）運営団体ヒアリング結果

当センターの運営等を通じて、行政と市民、市民同士、NPO法人と市民を繋ぎ、市民協働の支援を担っている「NPO28サポートセンター」に対して、次のとおり意見聴取を行った。

指針の基本理念は、今後も変わらず、継続するものであるとの意見であった。

また、開設から10年が経ち、成熟段階に移行してきている当センターの5つの機能について、取組状況の検証を行った。

運営団体からの主な意見等は次のとおりである。

＊市民協働指針の理念について

- ・「市民活動サポート検討委員会」のメンバーとして、現行の指針策定に携わってきた経過があり、今も現行の理念を念頭に置いて、市民活動交流センターを運営している。
- ・この理念は、「協働」の原点を表したものであり、基本的に変わるものではない。

＊活動拠点としての自己評価

- ・NPO28サポートセンターとして相談業務を受託しているが、法人としてだけでなく、相談に入るそれぞれのスタッフ自身が、各々の団体に所属し、市民活動を実践しているため、現場の視点からの助言ができています。
- ・交流拠点として、市民活動、商業、福祉の3部門の連携が必要不可欠であり、様々な取組を試行錯誤しながら進めてきたなかで、現在の運営スタイルに落ち着いてきている。

＊情報収集・提供機能について

- ・急速な情報化に対応するため、若者に向けて Facebook を開設するなどの取組みをしているほか、各市民活動団体におけるホームページや SNS の立ち上げ準備に協力している。

＊相談・コンサルティング機能について

- ・ N P O の立ち上げをはじめとする専門的な相談はここ数年増えてきている。
- ・ 相談を受けやすい環境として、受付時間の見直しなど改善努力をしている。
- ・ 組織マネジメントや新規事業立ち上げのコンサルティングなど、携わった団体へはフォローアップを行っており、継続性を持たせている。

＊調査研究機能について

- ・ まちづくりに関する各種制度等について、相談業務を通じて自然に集まるものも含め、常に情報収集を行っているが、N P O のネットワークで自らアンケート調査等を実施するなど、調査研究機能までを担うことは難しい。

＊人材育成・研修機能について

- ・ N P O や市民のスキルアップを図るための研修などを、現在の体制で自ら実施することは難しく、行政として「ボランティア養成講座」などを開催することが望ましい。
なお、個人としては講師を引き受け、人材育成の意識を持って、多くの場で研修を行っている。

＊政策提案機能について

- ・ 地域課題に取り組む中で、N P O と連携して解決の道筋をつけるための新たなシステムや仕組みを構築するようなことは、現在の体制では難しい状況にある。

結果と検討課題

意見のなかに、「認知度が低い」「十分に活用されていない」との記述もあることから、さらに、相談機能や情報の収集・提供機能の充実を図り、関係機関との連携強化を進め、積極的な広報を実施する必要がある。

2 市民活動団体等への意見聴取結果

(1) アンケート実施状況

市民活動団体等に対し、次のとおり市民協働に関するアンケートを実施し、意見を集約した。

＊実施期間 平成28年10月～12月

＊実施先

<① 市民活動団体>

市民協働の担い手であるNPO法人やボランティア団体、関係団体等から回答を得たものである。

なお、現在、検討を進めている地縁型組織（町内会等）とのマッチングや地域活性化の拠点としてのコミュニティ施設の活用についても意見聴取を行った。

<② コミュニティ施設運営委員会>

各コミュニティセンター（10か所）及び福祉センター（30か所）の運営委員長や役員から回答を得たものである。

なお、現在、検討を進めているテーマ型組織（NPO団体等）とのマッチング、コミュニティ施設の今後のあり方、活動の課題についても意見聴取を行った。

<③ 連合町内会>

各地区連合町内会（自治会を含む）から選出された役員（理事）から回答を得たものである。

なお、コミュニティ施設運営委員会と同様の意見聴取も行ったところであるが、回答者が両方の役員を兼務している例が多く、その場合、委員会の回答として整理をした。

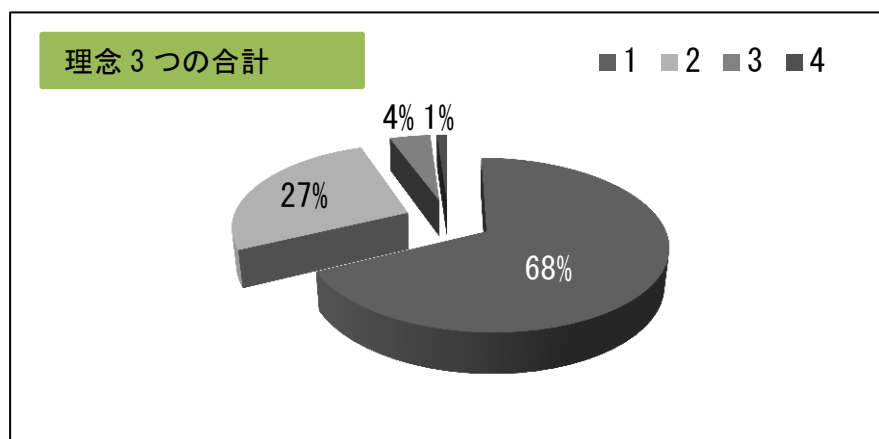
＊回答率

実施先	配付数	回答数	回答率
① 市民活動団体	98	46	47%
② コミュニティ施設運営委員会	40	29	73%
③ 町内会連合会	28	15	54%
合 計	166	90	54%

(2) 協働の基本理念についての意見

＊「帯広市市民協働指針」に掲げている３つの理念について、現在の市民協働の状況や将来的な理念として共感するか

現 行 の 理 念		選 択 肢		回 答 数
1	市民と行政は、公共サービスを受ける側と提供する側でも、上下の関係でもない、共にまちづくりを行う対等のよきパートナーです。	1	そう思う	60
		2	まあまあ、そう思う	27
		3	あまり、そう思わない	2
		4	まったく、そう思わない	1
2	市民と行政は、相互の特性などについての理解と協働の目的などについて共通認識の醸成に努めます。 その上で、市民は、知恵や技術、経験などを活かし、まちづくりの企画・立案、事業の実施、評価の各段階に進んで参加し、行政は、豊富な情報を積極的に公開し、透明性の高い行財政運営を推進します。	1	そう思う	61
		2	まあまあ、そう思う	24
		3	あまり、そう思わない	4
		4	まったく、そう思わない	1
3	市民は、これまでも自らの意思と責任のもとで様々な活動を展開し、まちづくりを支えています。 行政はこうした市民の自主性・主体性を尊重し、これからも相互に協力しながら市民協働のまちづくりを進めます。	1	そう思う	62
		2	まあまあ、そう思う	21
		3	あまり、そう思わない	6
		4	まったく、そう思わない	1



結果と検討課題

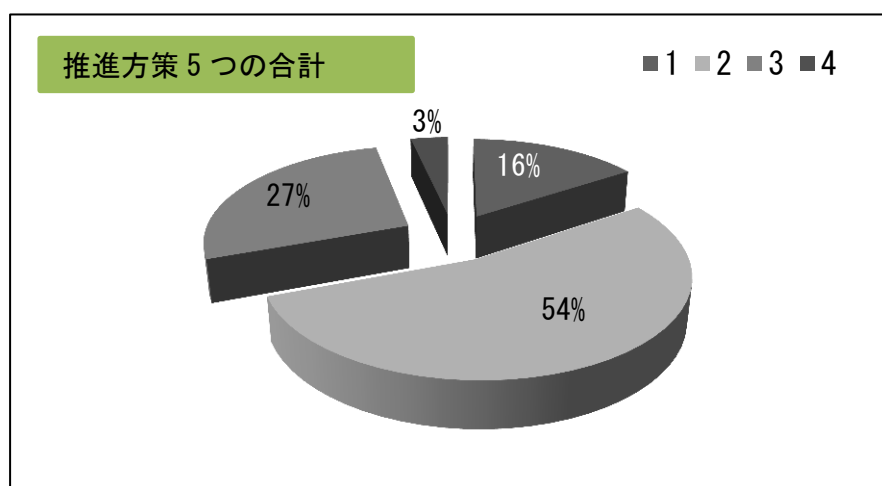
理念に対する共感度は、「そう思う」「まあまあそう思う」を合計すると 95% となり、多くの市民の理解を現在も得ていると言えることから、市民協働のあるべき姿として、今後も不変であると考えます。

なお、帯広市市民協働指針において、当指針が定着した際には、「条例化」していくことが取組に盛り込まれており、平成 19 年に施行された「帯広市まちづくり基本条例」にも当指針の理念が引き継がれていることから、理念の位置付けを整理する必要がある。

(3) 協働の推進方策についての意見

＊「帯広市市民協働指針」に掲げている市民協働の5つの推進方策について、これまでの市民協働の状況をふまえ、行政の取組が進んでいると感じているか

現 行 の 推 進 方 策		選 択 肢		回答数
1	事業の実施状況や施策の検討状況、事業の評価などを広報紙やホームページなどの様々なメディアを活用してわかりやすく周知するほか、パブリックコメント制度の活用を進め、市民との情報の共有化に努めます。	1	十分に取組まれている	15
		2	まあまあ、取組まれている	55
		3	あまり、取組まれていない	15
		4	まったく、取組まれていない	1
2	市民活動交流センター（藤丸7階）などの公共施設を有効に活用して、団体相互の情報交換・交流・活動を進めるための環境を整備します。	1	十分に取組まれている	18
		2	まあまあ、取組まれている	46
		3	あまり、取組まれていない	21
		4	まったく、取組まれていない	2
3	市民活動団体などが自主的に行う人材育成を支援し、協働の担い手を育てます。	1	十分に取組まれている	8
		2	まあまあ、取組まれている	37
		3	あまり、取組まれていない	34
		4	まったく、取組まれていない	6
4	イベントや研修会などの開催を通じて、協働のきっかけづくりを進め、計画・立案段階からの協働に努め、協働の機会を拡大します。	1	十分に取組まれている	15
		2	まあまあ、取組まれている	48
		3	あまり、取組まれていない	22
		4	まったく、取組まれていない	2
5	市民協働に対する行政職員一人ひとりの理解を深めるとともに、職務を通じた実践を進めるなど、行政職員の意識改革や資質の向上に努めます。	1	十分に取組まれている	12
		2	まあまあ、取組まれている	45
		3	あまり、取組まれていない	25
		4	まったく、取組まれていない	4



結果と検討課題

推進方策の取組に対する実感度は、「まあまあ取り組まれている」が54%となっているものの、「あまり取り組まれていない」も27%あり、自由記述にお

いても、「実行されていない、伝わっていない」などの記述が見受けられ、具体的な取り組みが市民に見えない状況にあるものと考えられる。

今後、より実践的な手法を示したマニュアルなどを作成するほか、協働事例などの情報提供をさらに進める必要がある。

（４）連携・協働の取組状況についての意見

＊「地縁型組織（町内会）との連携・協働」について、どのように考えているか

＜① 市民活動団体＞による回答を集約したものである

町内会との連携・協働状況		回答数
1	既に連携・協働している	14
2	連携・協働したいと考えている	7
3	連携・協働するような事業がない	1
4	いまのところ、わからない	15
5	町内会以外の民間とは連携している	6

協働している (したい) 地域	回答数
帯広市全域	11
東地域	2
川北地域	1
西帯広地域	2
南地域	2

協働している(したい) 分野	回答数
まちづくりの推進	10
地域安全	9
保健、医療又は福祉の増進	8
社会教育の推進	7
子どもの健全育成	7
学術、文化、芸術又はスポーツの振興	6
災害救援	6
観光の振興	3
環境の保全	3
男女共同参画社会の形成の促進	2
情報化社会の発展	2
職業能力の開発又は雇用機会の拡充支援	2
消費者の保護	2
人権の擁護又は平和の推進	1
経済活動の活性化	1
NPO活動支援	1

＊「テーマ型組織（NPO団体）との連携・協働」について、どのように考えているか

＜②コミュニティ施設運営委員会＞と＜③ 連合町内会＞による回答を集約したものである

テーマ型組織との連携・協働状況		回答数
1	NPO法人と連携・協働している	1
2	ボランティア団体と連携・協働している	10
3	企業と連携・協働している	3
4	その他の団体と連携・協働している	6
5	その他の団体と連携・協働したい	1
6	連携・協働するような事業がない	7
7	いまのところわからない	14

協働している(したい)分野	回答数
子どもの健全育成	14
災害救援	9
地域安全	9
環境の保全	8
まちづくりの推進	7
保健、医療又は福祉の増進	5
社会教育の推進	4
学術、文化、芸術又はスポーツの振興	2
消費者の保護	2
NPO活動支援	2
観光の振興	1
農山漁村又は中山間地域の振興	1
男女共同参画社会の形成の促進	1
情報化社会の発展	1

＊担い手不足によって負担や課題に感じていること

＜②コミュニティ施設運営委員会＞と＜③ 連合町内会＞による回答を集約したものである

負担に感じていること		回答数
1	負担に感じていることはない	16
2	町内会の親睦行事の実施に負担を感じている	8
3	町内会費の収納や会計処理に負担を感じている	1
4	町内会回覧板の処理に負担を感じている	10
5	広報紙の配布に負担を感じている	7
6	コミュニティ施設の会計処理などの運営事務に負担を感じている	3
7	コミュニティ施設の行事などの企画、実施に負担を感じている	4

課題に感じていること		回答数
1	課題に感じていることはない	5
2	地域内の高齢者の見守り等に関して課題がある	18
3	地域内の子どもの育成等に関して課題がある	9
4	地域内の防災や安全に関して課題がある	19
5	地域内の環境維持に関して課題がある	8
6	地域内のまちづくりに関して課題がある	3
7	コミュニティ施設の利用率に関して課題がある	7
8	コミュニティ施設の維持管理に関して課題がある	10

結果と検討課題

各々の回答を比べると、地縁型組織とテーマ型組織の連携や協働の事例は少なく、思うように進んでいないものと考えられる。

地域における担い手不足が深刻となってきたことから、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けて、多様な主体が関わることがひとつの方法であるため、双方の出会いと対話の機会を設ける仕組みや、企業に対しての働きかけを強めていく必要がある。

(5) コミュニティ施設の活用についての意見

＊コミュニティ施設の活用について、どのように考えているか

＜① 市民活動団体＞による回答を集約したものである

活用の考え方		回答数
1	施設に拠点を置いて、活動してみたい	7
2	必要に応じて施設を利用し(借りて)、活動している(活動したい)	20
3	施設を活用できるような活動がない	4
4	施設の活用は考えていない	7
5	いまのところわからない	6

施設の管理運営の考え方(前の設問で1を選択)		回答数
1	施設の管理運営も実施できる(実施してみたい)	6
2	施設の管理運営は実施できない(実施できない可能性が高い)	1

＜②コミュニティ施設運営委員会＞と＜③ 連合町内会＞による回答を集約したものである

活用の考え方		回答数
1	コミュニティ施設をNPO法人やボランティア団体の活動拠点にするとよい	11
2	コミュニティ施設の運営は、民間企業と連携・協働するとよい	2
3	コミュニティ施設の運営は、地域の町内会等で担っていくとよい	25
4	コミュニティ施設と他の公共施設(学校等)との複合化を検討するとよい	15
5	コミュニティ施設の新築や建替を推進するとよい	4
6	コミュニティ施設を計画的に修繕し、長寿命化を図っていくとよい	24
7	いまのところわからない	3

結果と検討課題

コミュニティ施設については、古くは50年に渡り地域の町内会等で構成される運営委員会と協働しながら管理運営にあたっているところである。

地域事情や運営の歴史をふまえ、様々な意見があるところだが、体制や運営のあり方、施設の老朽化、利用率の低下などの課題があり、その課題解消と併せて、地域活性化の拠点として、コミュニティ施設を有効に活用するための方策を検討する必要がある。

市民協働のまちづくり 協働・連携ハンドブック —資料編—

発行 平成 30 年 3 月

帯広市市民活動部市民活動推進課

〒080-8670 帯広市西 5 条南 7 丁目 1 番地（帯広市役所本庁舎 3 階）

電話（0155）65-4130 FAX（0155）23-0156

E-mail active@city.obihiro.hokkaido.jp
